

郡山市(福島県)の一体的実施

平成25年10月1日事業開始

郡山市役所福祉事務所内に「ハローワークコーナー」を開設し、市とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的な就労支援を効果的・効率的に実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者に対する支援

② 協定・事業計画

- ・郡山市長と郡山公共職業安定所長にて協定書(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を郡山市長と郡山公共職業安定所長の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・郡山地域生活福祉・就労支援協議会を設置
(郡山公共職業安定所長が会長)

社会福祉課のカウンターに隣接して「ハローワークコーナー」を2ブース設置。身近な市役所で、予約制・担当者制で国の就職支援ナビゲーターが対応し、上記受給申請段階からワンストップによる一体的な就労支援を実現。

(1) 実施体制

市

- ・保健福祉部社会福祉課就労支援相談支援員 3名
- ・査察指導員 4名
- ・ケースワーカー 26名

国

- ・就職支援ナビゲーター(一体支援分)2名
- ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を平成26年1月から設置予定

(2) 事業目標と取組状況(平成25年10月1日～事業開始)

	25年度事業目標 (25年10月～26年3月)	取組状況(25年10月末時点)
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援(支援プラン策定)を112人以上実施する。	10月 10人
就職率	就労支援の対象とし支援プランを策定した者の就職率 ・50%以上	就職率 40% 支援プラン策定者数 10人 就職者数 4人

一体的実施事業による就職成功例

男性：40歳 希望職種：土木作業員

○ 本人の状況・背景

- ・除染作業への就職を機に郡山市へ転居。その後、離職したことにより生活費が枯渇。生活保護申請。

① 抱える課題

- ・言葉使いや身だしなみなど、近寄りづらい雰囲気。
- ・救護施設でのショートステイ利用したが限度を超え住居なし。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・本人希望の除染作業（住込み）へ早期の就職支援。
- ・住込みでの就労に絞り、除染求人情報を提供。
- ・応募書類の作成指導を行う。
- ・初回相談から、二日後の二回目相談で、住込みの除染求人を紹介し書類選考で内定となる。

③ 結果

- ・除染作業員として、正社員採用。
- ※支援期間 7日

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・一体支援窓口（関係機関の連携）における支援により本人の抱える課題や背景が明確になったため、短期間で就職を実現できた。

○ 本人のコメント

- ・救護施設の支援員、ケアー・ハウスの支援に大変感謝している。正社員で就職できて嬉しいです。

男性：39歳 希望職種：製造工

○ 本人の状況・背景

- ・日雇い作業員をしていたが、自己都合で離職。生活困窮のため同居の母は兄が引き取り、本人は生活保護を申請。

① 抱える課題

- ・保護決定までの、生活費、求職活動費、就職準備金の不足。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・就労意欲が高いうちに、早期の就職を支援。
- ・生活保護を受給するまでに、つなぎ貸付が考えられるが、このためには事業所からの内定通知が必要。
- ・初回相談日から、4日後の2回目相談で急募求人を紹介。即日面接で採用となる。

③ 結果

- ・仮設トイレの清掃員として、正社員採用
- ※支援期間 5日

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・当初より就労意欲が高く、早期に収入を得られる仕事を探すという共通認識であったため、チーム支援によるワンストップサービスが実現できた。

○ 本人のコメント

- ・就労開始前に貸付を受け、作業着等が準備できた。今後も収入を増やし自立に向け努力していきたい。